

平成 24 年度学校評価結果公表シート

学校法人 大藤学園

1. 大藤学園の教育目標

体	健康で、明るく、たくましい子ども (精神的にも豊かな個性のある意志の強い子ども、どんな困難をもつても克服する努力を続けるたくましい子ども) 健康なからだづくり (マラソン・サッカー・跳び箱・体操)
知	考える力を育てる 知識欲・好奇心が旺盛な子ども 創造性豊かでやる気のある子ども
心	「ありがとう」「ごめんなさい」と素直にいえる子ども 思いやりあるあたたかい心を持つ子ども 美しいものに感動できる豊かな心を持つ子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

今年度の保育テーマは「キラキラ笑顔!!～のびのび遊んで元気なからだ～」 日課表を改め、子どもの実態に即したカリキュラム、行事と日々の保育のバランスを学期ごとに見直していく。昨年度より引き続き、保育の質の向上と、職員間の共通認識・理解、保護者との連携をより深めていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
(1) 日課表をもとに、行事とカリキュラム、日々の保育のバランスを学期ごとに見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの活動が偏ったり、無理がないようカリキュラムの検討・反省時には共通理解に努めた。 ・子どもたちが楽しく取り組めるよう、日案を作成時には前日の反省を生かし行事や、静と動の活動バランスを考えた。
(2) 日々の保育において、健康管理(衛生面)・安全管理の配慮を行ない、職員間で共通認識をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・常に安全に配慮するよう心掛け、事故予防のために職員間で気づいた事を伝えあった。 ・事故予防に関する情報(新聞掲載)を共有し、起きた事故に際しては検証し再発を防ぐよう確認。
(3) クラス経営、園の一員としての目標と具体的な行動計画を各自持ち、保育の質を高め、よりよい環境作りに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検シートによって各自学期ごとの反省、振り返りを行なった。 ・クラス経営については、学期末に反省を発表して相互理解に努めた。
(4) 保育準備・環境整備などの効率化。	<ul style="list-style-type: none"> ・効率良く進めようと意識をして、仕事に見通しを持ち、声を掛けあいながら取り組んだ。 ・教材が無駄にならないように工夫し、長期利用をふま

<p>(5) 園内研修の充実。外部研修への参加と、研修内容を現場に生かす方法を考える。</p>	<p>えた物を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内外研修においては各自得るものがあった。 ・外部研修に参加して得た事を全体で共通理解する場がもてず、活用しきれなかった。
---	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理 由
B	<p>子どもの実態に即したカリキュラム、日々の保育への取り組みは、年限または全体で共通理解して進めるよう努力した。質の向上に向けて外部研修で得たことを有効に生かしていけると良かった。</p>

◎「3. 4.」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園内美化・整備	園舎の老朽化に伴い、できる範囲内で整備・修繕に努める
安全・危機管理の徹底	事故予防・対応について情報の共有化
カリキュラムの見直し	行事と日々の保育のバランス。ねらいを明確化し、達成までの指導計画を子どもの実態に即して考える。